

業務用/大型施設向け 直管110ワット形のHf蛍光ランプ(FHF86ワット形)
「ハイルミック UVカット機能付き」を発売
- 紫外線カット材により、虫が寄りやすく、色あせも抑制 -

日立ライティング株式会社(取締役社長:小玉 正義)は、ランプに紫外線カット材をコーティングすることで、虫が寄りやすく、衣料品や紙などの色あせも抑制する業務用の110ワット形Hf蛍光ランプ*1(FHF86ワット形)を6月1日から順次発売します。

業務用の「UVカット機能付き」蛍光ランプとしては、既に「直管40ワット形」及び「直管40ワット形Hf蛍光ランプ(FHF32ワット形)」を昨年11月に発売しており、虫が寄りやすく、色あせを抑制する効果が好評で、食品スーパー等の店舗や工場などで幅広く使用されています。

今回発売する新製品は、110ワット形Hf蛍光ランプ(FHF86ワット形)としては国内で初めて*2、蛍光ランプのガラス管内面に紫外線カット材をコーティングしました。これによって、蛍光ランプから放射されるわずかな近紫外線を、約75%*3カットすることが可能となり、虫が寄りやすく、照射物への色あせも抑制することができます。

業務用の照明分野において、大幅な省エネが期待されるHf蛍光ランプは、現在、16、32および86ワット形があります。このうち、特に大型の店舗や工場などでは、86ワットの消費電力で110ワット並みの明るさを実現した、FHF86ワット形の需要が拡大しています。

当社では、2004年6月に、紫外線をカットするコーティング材を付加した家庭用蛍光ランプ「きらりUV」を発売し、好評を得ています。業務用においても、ラインアップを展開し、店舗等の省エネニーズに対応してきましたが、今回新たに、86ワット形で紫外線カット材をコーティングした製品を開発しました。

本製品を使用することで、虫が寄りやすくなると同時に、店舗や倉庫においては、衣料品や印刷物等の製品の色あせを抑制することができます。

*1: Hf蛍光ランプ: 高周波点灯専用蛍光ランプ。専用のインバータ照明器具と組み合わせて使用することにより、高照度、省エネ・高効率を実現。

*2: 2005年5月9日現在、110ワットサイズのHf蛍光ランプにおいて。

*3: 当社製品FHF86EN-V(UVカット機能付き)とFHF86EN(UVカット機能なし)との比較。

本体希望小売価格および発売日

種別	光源色	形式	希望小売価格	発売時期	当初販売目標
FHF86形 蛍光ランプ	ハイルミック N	FHF86EN-V	3,780円 (税抜3,600円)	6月1日 (順次発売)	60万本/年
	ハイルミック D	FHF86ED-V			
	ハイルミック白色	FHF86EW-V			
	ハイルミック温白色	FHF86EWW-V			
	ハイルミック電球色	FHF86EL-V			

主な仕様

形式	光源色	色温度 (K)	口金	定格ランプ電力 (W)	全光束 (lm)	定格寿命 (時間)	梱包数 (本)
FHF86EN-V	ハイルミック N	5,000	R17d	86	9,200	12,000	10 (サックなし)
FHF86ED-V	ハイルミック D	6,700			8,650		
FHF86EW-V	ハイルミック白色	4,200			9,200		
FHF86EWW-V	ハイルミック温白色	3,500			9,200		
FHF86EL-V	ハイルミック電球色	3,000			9,200		

取扱い事業部・照会先

日立ライティング 株式会社 マーケティング部 管球グループ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目5番2号 (須田町佐志田ビル)

電話：(03) 3255-5255 [担当：仁藤]

お客様からの問合せ先

お客様相談センター 0120-3121-11

< 添付資料 >

110ワット形Hf蛍光ランプ(FHF86ワット形)「ハイルミック UVカット機能付き」について

1. 特長

- (1) ガラス管内面に紫外線をカットするコーティング材を塗布し、ランプから放射される近紫外線を約75%低減しました*1。
- (2) 近紫外線放射量を低減することにより、昆虫の誘引低減、色あせの抑制を実現しました。

*1：当社製品FHF86EN-V(UVカット機能付き)とFHF86EN(UVカット機能なし)との比較。

2. 技術的内容

- (1) 蛍光ランプは、ガラス管に封入されている水銀から放射される紫外線を、蛍光体で可視光線に変換しています。紫外線のほとんどはガラス管を透過しませんが、わずかに近紫外線が蛍光ランプから放射されています。そこで、当社独自の超微粒子(ナノ粒子)材料をガラス管内面にコーティングし、ランプから放射される僅かな近紫外線を低減しました。(特許出願中。図1参照)
- (2) 全長が長いガラス管内面にも紫外線カットコーティング膜を均一に塗布するための超微粒子分散技術と塗布技術を開発し、明るさや寿命等の蛍光ランプの基本性能を低下させずに紫外線放射量を低減しました。(特許出願中。図2参照)
- (3) 近紫外線は、昆虫の誘引や色素の退色をもたらす効果がありますが、これを低減することにより、昆虫の誘引低減、色あせ抑制の効果を得られます。

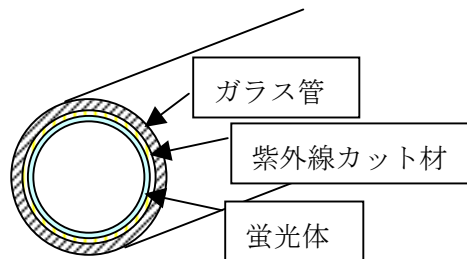


図1. ガラス管断面

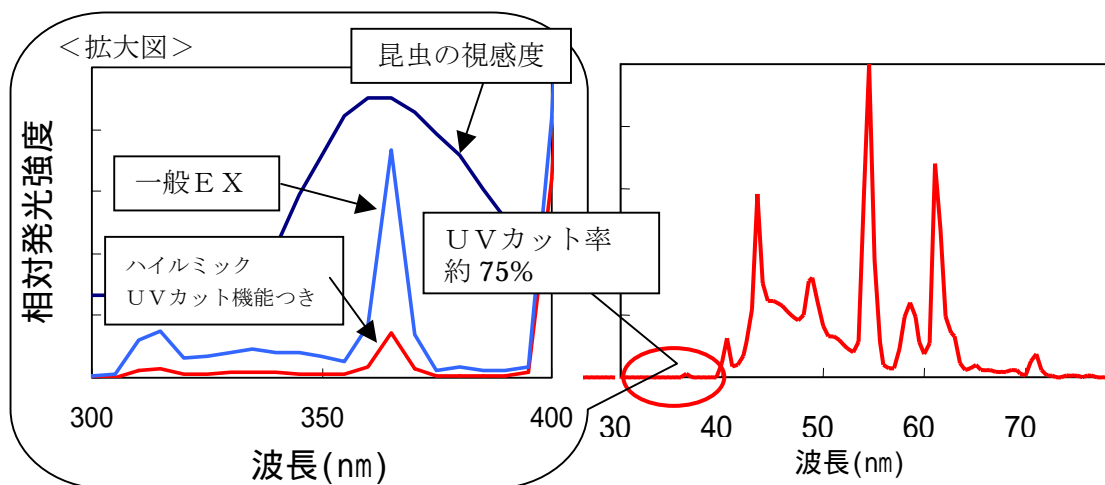


図2. 紫外線部の分光分布

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
